

レベル		I	II	III	IV	V
レベル目標 (あるべき姿)		職場でのルールに従い必要に応じて指導や教育を得て看護実践を行うことができる	所属の臨床場面において、標準的な計画に基づき自律して看護実践を行うことができる	所属の臨床場面において、ケアの受け手に合う個別的な看護実践を行うことができる	優秀な看護実践に加えて、組織的な役割遂行を行い、幅広い視野を持った看護実践ができる	所属の臨床場面においては卓越した看護実践を行い、組織内外にかかわらず広範囲な役割遂行を実践できる
臨床能力項目	社会性 組織人として職務規定を遂行し自律（セルフコントロール）して行動できる能力	組織人としての自覚を持ち、法人の職務規定に沿った行動ができる	組織人として、法人の職務規定に沿った規律的行動がとれ、ロールモデルとなる行動ができる	組織人としての行動がとれ、法人の職務規定に沿って指導することができる	組織人として法人の職務規定に沿って指導・改善提案・維持に努めることができる	組織内外にかかわらず組織人として指導・改善提案・維持に努めることができる
		①サービス規程に沿って行動できる ②自分の行動・言動に責任を持つ大切さがわかる ③自分の健康管理の必要性がわかり行動できる ④報告・連絡・相談すべきことを実施できる	①サービス規程に沿って行動し、ロールモデルになることができる ②自己の感情に気づき、コントロールすることができる	①サービス規程に沿って勤務し、指導することができる ②あらゆる場面において感情をコントロールし、対応することができる	①サービス規程に沿って勤務し、指導・改善提案・維持に努めることができる ②あらゆる場面において感情をコントロールし、適切な対応をすることができる	①組織人として、組織内外の人々と良好な関係を保ち、必要時指導・改善提案・維持に努めることができる
	看護倫理 人間の生命や人間としての尊厳および権利を尊重し、責任を持ち、平等に看護を提供することができる能力	日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を理解し、倫理的問題に気づくことができる	倫理的問題に対し、取り組むことができる	所属する部署内で、倫理的問題に対して、教育的な役割を果たすことができる	倫理的問題に対して、所属する組織の中で横断的に教育・調整の役割を果たすことができる	倫理的問題に対し、組織内外に働きかけることができる
		①「看護者の倫理綱領」を理解することができる ②臨床場面において、倫理的問題に気づくことができる	①臨床場面での倫理的問題に直面した場合、その問題をどうすべきかを判断し、行動することができる	①倫理的問題への対応について、部署内で教育的に関わることができる	①倫理的問題への対応について、組織横断的に教育・調整の関わりができる	①倫理的問題に直面した場合、組織内外においても教育・調整の役割を果たすことができる
	看護の核となる実践能力 看護師が論理的な試行と正確な看護技術を基盤に、ケアの受けてのニーズに応じた看護を隣地で実践する能力	基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
		①助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる（ニーズをとらえる力） ②助言を得ながら、安全な看護を実践する（ケアする力） ③関係者と情報共有ができる（協働する力） ④ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る（意思決定を支える力）	①ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる（ニーズをとらえる力） ②ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する（ケアする力） ③看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる（協働する力） ④ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる（意思決定を支える力）	①ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる（ニーズをとらえる力） ②ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する（ケアする力） ③ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる（協働する力） ④ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる（意思決定を支える力）	①ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる（ニーズをとらえる力） ②様々な技術を選択・応用し看護を実践する（ケアする力） ③ケアの受け手を取り巻き多職種の力を調整し連携できる（協働する力） ④ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる（意思決定を支える力）	①ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる（ニーズをとらえる力） ②最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する（ケアする力） ③ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす（協働する力） ④複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる（意思決定を支える力）
	組織的役割遂行能力 看護チームなどの最小組織から、看護部、医療施設、地域、国内での看護職能団体のなかでの役割遂行能力	責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームでは、フォローワーやチームメンバーの役割、病棟の係としては簡単なルーチンの役割を遂行できる	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて、基準や手順を遵守した行動が取れる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれる	所属する職場で、組織的役割が遂行できる。看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としては創造的能力を要求される係の役割を遂行できる	所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割。または指導的な役割（学生指導、業務改善係、学集会係、教育委員、リスクマネジメント係など）を遂行できる。看護単位の課題の明確化ができる	所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる。看護単位の課題に対し、具体的解決を図ることができる
		①組織・チームの基本的な役割を果たすことができる ②看護チームでは、フォローワーやチームメンバーの役割が遂行できる ③病棟での係としては、簡単なルーチンの係の役割を遂行できる	①組織の一員としての日常的な組織的役割を理解できる ②所属する部署の目標に向けて基準・手順を遵守した行動ができる ③看護業務においてリーダーシップがとれる	①所属する職場で、組織的役割が遂行できる ②看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割を遂行できる ③所属する部署の創造的能力を要求される係の役割を遂行できる	①所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割を遂行できる ②指導的な役割（学生指導、業務改善係、学集会係、教育委員、リスクマネジメント係など）を遂行できる ③看護単位の課題が明確化できる	①所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる ②看護単位の課題に具体的解決を図ることができる
	自己教育能力 技術専門職としての自己の技能を高め、さらに看護への科学的追及を行う能力	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる	自己学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究取り組み、後輩のロールモデルとなることができる	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる
		①自己の課題を指導によって発見することができる ②自己の課題に対して、自主的な学習に取り組むことができる	①自己の課題明確化することができる ②課題に達成に向けた学習活動を展開することができる	①自己の学習活動に積極的に取り組むことができる ②新人や学生に対する指導的な役割を実践することができる	①自己のキャリアの目指す方向に主体的に研究に取り組むことができる ②科学的追及に関して後輩のロールモデルとなることができる	①単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる ②看護単位における教育的役割をとることができる